

平成30年産「だて正夢」の生育状況及び今後の栽培管理について

宮城県米づくり推進本部
平成30年7月6日

1 新品種「だて正夢」の生育概況

7月2日現在の生育状況は、草丈53.9cm（前年比118%）、茎数475本/m²（前年比99%）、葉数9.9枚（前年差+0.6枚）、葉色（GM値）42.9（前年差-2.4ポイント）となっている。

表1 「だて正夢」生育調査結果（7月2日まで）

	草 丈		茎 数		葉 数		葉 色	
	本 年 (cm)	前年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)
6月1日現在	25.7	89	110	103	5.3	▲ 0.0	—	—
6月11日現在	34.0	104	261	161	7.2	1.0	42.6	6.5
6月20日現在	39.1	110	381	118	8.1	0.3	43.2	1.5
7月2日現在	53.9	118	475	99	9.9	0.6	42.9	▲ 2.4

※県内10か所の平均値

2 「だて正夢」の今後の栽培管理について

【追肥について】

ポイント

○追肥は、減数分裂期に窒素成分で2kg/10aを施用する。

○有効茎数の不足が予想される場合には、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で1kg/10aずつ施用する。

登熟歩合と千粒重を高めるため、減数分裂期の追肥が基本となるが、以下の基準により判断する。

<幼穂形成期の追肥判断>

ア. 生育量が目安に満たない。

→ 窒素成分で1kg/10aを追肥

イ. 生育量が目安内にあるか超過している。

→ 追肥しない（減数分裂期の追肥を検討）

※次ページ表2の倒伏診断指標（幼穂形成期）も参考にする。

●幼穂形成期（幼穂長：1～2mm）

生育量の目安

草丈 (cm)	59～63
茎数 (本/m ²)	440～480
葉色 (GM値)	39～43
主茎葉数 (枚)	10.0～10.8

<減数分裂期の追肥判断>

ウ. 生育量が目安内にあるか目安に満たない。

① 幼穂形成期追肥を行っていない

→ 窒素成分で2kg/10aを追肥

② 幼穂形成期追肥を行っている

→ 窒素成分で1kg/10aを追肥

エ. 生育量が目安を超過している。

→ 追肥しない

●減数分裂期（幼穂長：3～12cm）

生育量の目安

草丈 (cm)	—
茎数 (本/m ²)	410～450
葉色 (GM値)	35～39
主茎葉数 (枚)	11.3～12.0

【水管理について】

○中干しは、遅くとも幼穂形成期前に終了する。

○根腐れが発生しやすく倒伏の危険性のある水田は、有効茎を確保する頃から落水期まで、飽水管理により、根の健全化と茎の充実を図る。

【病害虫防除について】

○葉いもち・穂いもち防除は、「ひとめぼれ」に準じて適期に実施する。

○斑点米カメムシ類の防除については、出穂期が「ひとめぼれ」より1～2日程度遅くなることに留意し、適期に実施する。

【参考】

表2 だて正夢の倒伏判断指標（幼穂形成期）

茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉緑素計値(Spad502plus)					
		38	40	42	44	46	48
400	50	7.6	8.0	8.4	8.8	9.2	9.6
400	55	8.4	8.8	9.2	9.7	10.1	10.6
400	60	9.1	9.6	10.1	10.6	11.0	11.5
400	65	9.9	10.4	10.9	11.4	12.0	12.5
400	70	10.6	11.2	11.8	12.3	12.9	13.4
400	75	11.4	12.0	12.6	13.2	13.8	14.4
400	80	12.2	12.8	13.4	14.1	14.7	15.4
400	85	12.9	13.6	14.3	15.0	15.6	16.3
500	50	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0
500	55	10.5	11.0	11.6	12.1	12.7	13.2
500	60	11.4	12.0	12.6	13.2	13.8	14.4
500	65	12.4	13.0	13.7	14.3	15.0	15.6
500	70	13.3	14.0	14.7	15.4	16.1	16.8
500	75	14.3	15.0	15.8	16.5	17.3	18.0
500	80	15.2	16.0	16.8	17.6	18.4	19.2
500	85	16.2	17.0	17.9	18.7	19.6	20.4

注) 茎数, 草丈, および葉緑素計値以外の数値は生育量(草丈×茎数×葉緑素計値÷100,000)を示す。生育量が11.7以上13.2未満(灰色セル)は25～50%, 13.2以上(濃灰色セル)は50%以上の確率で立毛角度40°を下回り品質が低下する。